

2022年度 中央大学国文学会 講演会

悦田喜和雄と文学

講師：富塚 昌輝 先生

(中央大学文学部准教授)

日時：10月19日(水) 4限 (15:10～16:50)

会場：中央大学多摩キャンパス

FOREST GATEWAY CHUO 3Fホール

— 講演要旨 —

悦田喜和雄は、徳島県南部の農村で、農業を営みながら文学を書き続けた作家です。『中央公論』などに作品を発表していた時期もありましたが、多くの時期は地方新聞や同人誌に作品を掲載していました。専業作家でもなく、中央文壇誌で活躍した訳でもない作家を取り上げることで、人生や地域のなかに文学の火をともしことの意味について考えていきたいと思えます。

— 講師略歴 —

1981年東京生まれ。2004年中央大学文学部国文学専攻卒業。2013年同大学院博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員、徳島大学総合科学部准教授を経て、現在中央大学文学部准教授。博士(文学)中央大学。

〔主要著書・論文〕

『近代小説(ノベル)という問い—日本近代文学の成立期をめぐって』(翰林書房 2015)
「近代批評ジャンル成立の一側面—ノルマントン号探検訴訟とその周辺」(『言語社会』2019・3)
「悦田喜和雄と「新しき村」」(『中央大学国文』2022・3)

※ご来場の際はマスク着用・手指の消毒等、感染予防にご協力ください

※参加費、事前申込は不要、直接会場にお越しください

皆さまお誘い合わせの上、ご来場ください

主催：中央大学国文学会 問い合わせ先：国文学研究室 kokubun-grp@g.chuo-u.ac.jp